



高木瀬小学校 学校だより

第9号
R7.10.21発行
文責:橋口

授業参観においでくださり、ありがとうございました



10月10日(金)は平日にもかかわらず、たくさんの学校サポーターの皆様は本校においでいただき、とても熱心に授業の参観をしていただきました。私は、全ての学級を見て回りましたが、いつもとは全く違ってどこにいるのか分からないくらいおとなしい子どももいれば、張り切っていつもよりも発表をがんばっている子どももいて、

「おうちの方に良いところを見せたいんだなあ」と授業参観ならではの姿を私はとても微笑ましく思いました。

学校サポーターの皆様は、どのようにご覧になられたでしょうか?何か気になられることはなかったでしょうか?本校職員はみな一生懸命に職務にあたっておりますが、配慮に欠ける部分や説明不足のことがあるかもしれません。お問い合わせいただくことで、学校改善につながったり、サポーターの皆さんとより分かり合えたりすることもあるかと思えます。「こんなことを言ったらクレマーと思われるのではないか?」等と心配されずに、気になられることは、どうぞ、連絡帳やリーバー等でお知らせください。

【本校学校サポーターの自慢】

学校サポーターによる教室や廊下などでのおしゃべりや携帯電話の使用などがほとんどありません。廊下が大変混雑して参観しづらい学級も多かったのですが、奥に詰めたり、譲り合ったりしてくださっていました。「見えづらい」と苦情がきてもおかしくない状況なのに、笑顔で挨拶をしてくださる方も多く、感謝の気持ちでいっぱいになりました。学校サポーターのマナーの良さは本校の自慢です。いつもご協力をありがとうございます。

来年度も本校は健康観察アプリ「リーバー」を使います

本来であれば、佐賀市立小学校として、無料の佐賀市スーパーアプリ「れんらくん」を活用すべきだと思うのですが、以下の理由から、来年度もこれまでと同じ健康観察アプリ「リーバー」を活用することとしました。

①「リーバー」は、誤送信のリスクが少ない。

佐賀市スーパーアプリは、宛先を入れ忘れた状態で送信した場合、全登録者にそのメッセージが送信されてしまいます。一方、「リーバー」は自分で宛先を入れないと送信できない仕様になっています。個人的な内容を送信することも多いため、送信先の誤りは学校の信頼問題につながりかねません。いくら気を付けていても、多忙な状況においては、ヒューマンエラーが起きがちです。システムによって、誤送信を防ぐ方法を取りたいと考えます。

②「リーバー」は学校からメッセージが届いた旨のポップアップが送信先(学校サポーター)に届く。

佐賀市スーパーアプリの場合、アプリを開かないとメッセージが届いているかどうか分からないのに比べ、リーバーはアイコンにメッセージ到着が示されるので、通知があった場合のみアプリを開けばよい仕様になっています。

佐賀市役所の担当課へは要望をお伝えしています。これまでも要望に応じて、次々と仕様の変更をいただいています。リーバーには児童一人当たり11円/月がかかり、現在、PTA 会費から支出をいただいていることから、今後の佐賀市スーパーアプリの仕様変更に期待をしたいと思います。

なお、このことについては、PTA本部役員会で経過を含め説明を重ねてきました。他のアプリに変更する場合、移行期間が必要なことから、10月14日の本部役員会にて、最終的に決定しました。

学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」



「台湾との手紙交流」

今年も、八戸溝郵便局長 石原資展さんのお世話で6年生が「台湾との手紙交流」の授業に臨みました。これは、平成26年度から八戸溝郵便局が子ども達に手紙を書く楽しさや返事がくる喜びを体験してもらおうと始められた取り組みです。英語で書いた手紙を通して海外の学校と交流するものです。現在、佐賀市内小中高校10数校にて実施されています。

6年生は、郵便事業が日本で始まった当時の衣装で登場された石原さんと海外の友達へ思いを馳せながら、手紙を書いていました。今年は台湾の小学校からの希望で2年生も手紙交流ができそうです。まだ、外国語の学習が始まっていない学年ですから、日本語と絵で台湾の友達に自己紹介をし、全てを石原さんが英訳をされます。このあと、実際に石原さんが台湾の学校へ出向かれ、本校児童の手紙を手渡されます。返事の到着がとても楽しみです。

高校生平和大使 本多さんをお迎えして



9月24日(水)に、6年生が佐賀県高校生平和大使の本多さんのお話をお聞きしました。45分という時間があっという間に感じられるほど、6年生は本多さんの話に引き込まれていました。11月末の修学旅行に向けて、さまざまな学習をし始めていること、また、本多さんがとてもお話し上手だったことにもよるとは思いますが、何より、自分たちとそんなに年が離れていない「高校生の話」という点が大きかったのではないかと思います。街頭で核兵器廃絶を求める署名活動をした、その署名を国連に届けに行ったりする活動の報告に驚きの声もあがっていました。憧れのまなざしを向けている子もいました。とても良い刺激をいただいたと思います。本多さん、ありがとうございました。今後のご活躍も祈念しております。

運動場乗り入れの車に困っています

7月末、下校時の熱中症指数が「危険域」になったことから、命に関わる緊急対応として、運動場への車両の乗り入れを許可しておりましたが、現在は「危険域」までには至っていませんので、**運動場へ車両乗り入れの許可はしていません。**

しかし、今もお迎えの車がが続いています。お迎えの時間帯は、運動場で体育の授業が行われている場合もあり、大変危険です。特に、雨の日は轍(わだち)ができて、その後の運動場使用に大きな支障となっています。

下校時のお迎えは特別の事情のない限り、控えていただきますようお願いいたします。

※事情があってお迎えにおいてになる場合も体育館南の駐車場でお待ちいただきますようお願いいたします。

徒歩に支障のある方(車いす使用等)と放課後デーサービスの車両のみ事務室前までお進みください。

※祖父母の皆様にも必ずお伝えいただきますようお願いいたします。お声をかけた場合、「知らなかった」と言われる方が多く、ご理解いただくために、お一人お一人に理由から説明をしなければなりません。

※プレハブ校舎南の通路は通行する車両の妨げとなるため、駐車しないでください。

※放課後デーサービス車両は、混雑の状況によって運動場駐車を案内する場合があります。

令和7年度全日本音楽教育研究会全国大会佐賀大会が本校を会場に開催されます。

10月23日(木)2時間目に1年2組(授業者:下平教諭)、3時間目に6年1組(授業者:高田教諭)で行います。全国から100名程度の先生方が本校においていただけるため、本校職員もその対応にあたります。平常通りの学校運営となるよう努めたいと思って準備をしておりますが、電話対応の遅れなど不測の事態が生じる恐れもあります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

なお、下校時刻は1~4年2:20、5・6年生は3:10に変更です。

また、保護者の参観はできません。

